

小学校と連携した継続的な生き物調査による農村環境保全を推進

都市的地域

とよだ 13.豊田の里を守る会（神奈川県平塚市）

- 本地区は、平塚市中央部に位置する水田地帯で多くの農道、水路が存在する。
- 現在は、地域の土木組合や農業者を中心にこれらの維持保全が行われているが、後継者の問題から、今後の維持管理が問題となっている。
- このような状況の中で、本活動組織が中心となって、農道や水路の維持管理を行うとともに、地域住民や子供たちとの交流活動を行い、広く地域の共同活動に発展させる。



【地区概要】

- ・取組面積 38.54ha
(田 32.17ha、畑 6.37ha)
- ・資源量 開水路 5.1km、農道 6.2km
排水路 5.0km
- ・主な構成員
農業者、非農業者（JA、敬老会等）

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題



水路の点検及び
初期補修

生き物調査

- 活動開始前から土木組合が水門や用排水路の掃除、点検補修等を行っていた。
- 維持管理費用は、市の補助があったものの、農業者の持ち出しも多々あり、厳しいこともあった。
- 地域の様々な団体による地域の環境保全活動があった。

取組内容



生き物調査(学校連携)

水田に棲む生き物の解説



- 農地や用排水路の点検を基に、維持管理を実施。
- 異常豪雨後の見回りによる応急措置も実施。
- 小学校及びPTAと連携した継続的な生き物調査を実施。

効果、課題、今後の展開

- 小学校及びPTAと連携した継続的な生き物調査を行うことにより、米作が盛んな地区内の農業や豊かな生態系に興味・関心を持つようになり、農業理解の促進が図られている。
- 景観作物の播種や収穫など、多岐にわたって交流を図り、さらなる農業理解に努める。
- 地域内の農業者の平均年齢が70歳と高齢化進む中、農地だけでなく施設の維持管理の担い手を育てることが課題。



地域資源の適切な保全の方向性についての話し合い